

| | | | | |
|-------------------------|---|------|--|----------|
| 1. 科目名 (単位数) | 病弱教育Ⅰ (2単位) | | 3. 科目番号 | SNMP3450 |
| 2. 授業担当教員 | 工藤 傑史 | | | SCMP3450 |
| 4. 授業形態 | 講義・演習 | | 5. 開講学期 | SBMP3450 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 病弱教育Ⅱの前に履修することが望ましい。 | | | SSMP3450 |
| 7. 講義概要 | SSMP3350 | | | |
| 7. 講義概要 | <p>「病弱教育」の対象に伴う疾患は、小児慢性特定疾病、重症心身障害、知的障害や肢体不自由に合併する病態、通常学級でみられるアレルギー疾患やてんかんなど多岐にわたり、個々の病気の程度・種類・治療経過によっても教育の場や形態が変化する。「病弱教育」は特別支援学校・特別支援教育のみならず通常の学校でも行われ、病気の治療をしながら学校に通う子どもへの自立・発達支援への課題・教育環境の整備・合理的配慮・授業内容の柔軟性が不可欠な時代となっている。最近では、医療の進歩に伴い医療的ケアの必要な子どもの就学と学習保障も大きな課題であり、医療・福祉と連携した対応が必要とされている。本科目ではこれらに幅広く目を向け、教育の専門家として対応できる資質を培う。教育・療育機能施設見学・オンライン等により病児・障害児とその家族の実態を理解するに努め指導における自立・発達支援・教育環境の整備や合理的配慮について学ぶ機会を作る。</p> | | | |
| 8. 学習目標 | <p>【期待される効果】以下の概要を理解し、説明ができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 0歳から15歳までの心身の正常発達を理解し教育・指導におけるアセスメント力を身に着ける。 「生きる力」をはぐくむカリキュラムにおいて病弱教育における多様な発達支援・自立支援・教育環境の整備・合理的配慮の実現を含む教育支援計画が作成できる。 児童の地域生活における医療・福祉との連携・協働のコーディネートや留意点と教師の役割を理解できる。 | | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | 適宜、レポート課題及びワークシートによる課題を実施します。 | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】『特別支援学校学習指導要領を踏まえた病気の子どものための教育必携』ジヤース教育新社、2020。</p> <p>【参考書】『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編 (幼稚園・小学部・中学部) (平成30年3月)』開隆堂、2018。</p> | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 毎回ごとの個人・グループでのレポート課題や到達課題研究に真摯に取り組んだか。 病弱教育に関連する法令 (学校教育法施行令第22条の3) における教育課程や教育的対応が理解できたか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業課題の予習と復習、グループワークへの積極的意見・発表資料等の作成・役割認識を評価する。 小テスト・レポート・課題研究 40% 「生きる力」のカリキュラム実施のための基本の病態・障害・教育環境整備・合理的配慮に関する期末テスト 60% <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p> | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <p>病弱教育の対象は多岐に渡り、いわゆる慢性疾患のみならず、知的障害や発達障害、肢体不自由など、合併する障害も様々です。入院している子どもだけでなく、入院・治療を繰り返しながら、通常の学級に通う子どももいるため、様々な授業形態が考えられます。しかし、どの子どもも治る力、学ぶ力をもっています。笑顔で安心して通える学校を目指して、病弱教育についての理解を深めていきましょう。</p> | | | |
| 13. オフィスアワー | 1回目の講義でお知らせします。 | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション 病気の子どもを取り巻く現状 | 事前学習 | 「病気」とは何か、自分の考えを説明できるようにしておく。(教科書 p10-16) | |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 | |
| 第2回 | 病弱教育の場と対象 | 事前学習 | Web等で様々な形態の医療機関を調べておく。(教科書 p17-25) | |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 | |
| 第3回 | 病気の子どもが教育をうけるための手続きと関係法令 | 事前学習 | 学校教育法施行令第22条の3について調べておく。 | |
| | | 事後学習 | 関係法令をノートに書き留めておく。 | |
| 第4回 | 学習指導要領を踏まえた指導 | 事前学習 | 特別支援学校学習指導要領解説 総則編 (幼稚園・小学部・中学部) を読んでおく。 | |
| | | 事後学習 | 「解説」の指摘部分に線を引いておく。 | |
| 第5回 | 個別の指導計画・個別の教育支援計画 | 事前学習 | 病弱教育の個別の指導計画について web等で調べておく。 | |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 | |
| 第6回 | 様々な指導事例① ー特別支援学校編ー | 事前学習 | 教科書 p54-65 に掲載されている病弱特別支援学校の指導事例に目を通しておく | |

| | | | |
|------|--------------------------------|------|---|
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 |
| 第7回 | 様々な指導事例② ー通常の小・中学校編ー | 事前学習 | 教科書 p74-77 に掲載されている通常の学校の病弱児の指導事例に目を通しておく |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 |
| 第8回 | 様々な指導事例③ ー訪問教育編ー | 事前学習 | 教科書 p66-73 に掲載されている訪問教育の指導事例に目を通しておく |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 |
| 第9回 | 病気に状態に応じた配慮 小児慢性特定実感① 白血病 | 事前学習 | 教科書 p92-95 「悪性新生物（白血病・脳腫瘍等）」を読んでおく |
| | | 事後学習 | 「白血病」についての知識を整理しておく |
| 第10回 | 病気に応じた配慮 小児慢性特定実感② 糖尿病 | 事前学習 | 教科書 p108-p111 「糖尿病などの内分泌疾患」を読んでおく |
| | | 事後学習 | 「糖尿病」についての知識を整理しておく |
| 第11回 | 病気に応じた配慮 小児慢性特定疾患③ 筋ジストロフィー | 事前学習 | 教科書 p96-99 「筋ジストロフィーなどの神経・筋疾患」を読んでおく |
| | | 事後学習 | 「筋ジストロフィー」についての知識を整理しておく |
| 第12回 | 病気に応じた配慮 重症心身障害 | 事前学習 | 教科書 p132-135 「重症心身障害」を読んでおく |
| | | 事後学習 | 「重症心身障害」についての知識を整理しておく。 |
| 第13回 | 病気に応じた配慮 不登校・心の病 | 事前学習 | 教科書 p128-131 「心身症及び精神疾患」を読んでおく。 |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく |
| 第14回 | ICTを活用した授業 | 事前学習 | 「ICT」の言葉の意味を調べておく |
| | | 事後学習 | 「ICT」に関連してどのような教材があるか整理しておく |
| 第15回 | まとめ | 事前学習 | これまでに配布したレジュメに目を通し、持参する |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り期末試験の準備をする |
| | | 期末試験 | |